

登録コード	E2632900	開講年度	2026				
授業科目	体育心理学					担当教員	大木 雄太
英文授業名	Psychology of Physical Education					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限		対象学生
講義室	教育会館1号室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				体育心理学の実践において求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中等教育現場において必要となる体育心理学の基礎的な専門知識・技能をもつことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	体育心理学に関する基礎的な知識や研究成果について講義し，体育における諸現象を理解するために必要な基礎的知識を身につけることをめざす。また，心理学と運動に関する実験や作業を行い，経験的に理解する。体育に関わる者が身につけておくべき心理学に関する基礎的な知識・技能を習得し，それらを指導に活かせるようになることを目的としている。						
(5)授業計画	第1回：イントロダクション（体育心理学とは） 第2回：動機づけと目標設定 第3回：覚醒とパフォーマンス 第4回：注意集中 第5回：モニタリング 第6回：イメージ 第7回：運動制御 第8回：運動学習 第9回：集団凝集性 第10回：スポーツ臨床 第11回：心理相談 第12回：教師の行動 第13回：指導実践 第14回：練習のプロセス 定期試験：試験とその解説・授業アンケートの実施						
(6)成績評価の方法	受講態度や論議での発言の様子(30%)，体育心理学の基礎的知識・理解度を測る定期試験の結果（70%）により判定する。						
(7)成績評価の基準	筆記試験は，授業で説明した内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」 授業の達成目標への到達度は得点率に応じて評価する。得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：次のテーマに関する書籍を読んだり映像を見たりして情報収集を行い，それをノートにまとめること。事後学習：ノートを復習し，要点の整理や疑問点の確認をすること。 この授業は 9 0 時間の学修を必要とする内容です。従って，6 0 時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	極力欠席しないこと。授業態度も重視するので，遅刻しないこと。心理学に関する書籍や新聞等に目を通すことを心掛け，主体的・積極的に授業に参加するようにしてください。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールで対応する。連絡先：oki_yuta@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	指定しない						